

令和5年5月1日

各 位

公益財団法人岡山県産業振興財団
ものづくり支援部研究開発支援課
(担当:竹内・保本)

「エコプロ 2023」岡山県ブース出展者募集のご案内

政府は昨年末のGX(グリーントランスフォーメーション)実行会議で脱炭素社会の実現に向けた基本方針を示しましたが、昨今の不安定な世界情勢、物価高やエネルギー価格上昇など経済情勢が厳しさを増す一方、温暖化対策や自然資本の保全は待ったなしの状況であり、従来と異なる手法や技術、そしてビジネスの創出が求められています。

本年12月に東京ビッグサイトで開催される「SDGs Week EXPO」は、環境問題をはじめとする社会課題解決のためのソリューションやテクノロジー、英知が集う展示会です。環境総合展の「エコプロ」を中心に5つの展示会を同時開催することで、SDGsの今を可視化し、それを更に推進する産官学連携の取組やビジネスを紹介するとともに、世代を超えた多様なステークホルダーが交流する場を創出します。

このたび岡山県は、県内企業等が開発した先進的な環境関連技術・製品をPRするとともに、広域的な販路展開を支援するため、「エコプロ 2023」に出展します。

つきましては、次のとおり岡山県ブースの出展者を募集しますので、幅広い業種のビジネスパーソンとの商談・取引やネットワーク構築等にぜひご活用ください。

記

- 1 出展事業 SDGs Week EXPO 2023 / エコプロ 2023 [第25回]
- 2 会 期 令和5年12月6日(水)～8日(金) 10時～17時
- 3 会 場 東京ビッグサイト 東4・5・6・7ホール (東京都江東区有明3-11-1)
- 4 入 場 料 無料(登録制)
- 5 主 催 一般社団法人サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社
- 6 同時開催 社会インフラテック [第6回インフラ維持管理・老朽化対策総合展]、
カーボンニュートラルテック [第3回]、自然災害対策展 [第5回]、
ウェザーテック [第3回]

- 7 出展規模 600社・団体／1,200小間（SDGs Week EXPO 全体、見込み）
- 8 来場者数 65,000人（SDGs EXPO Week 全体、見込み）
- 9 来場対象 社会課題解決に携わるビジネスパーソン
- 企業 ●自治体・官公庁 ●各業界団体、地域産業・商工団体
 - 学術機関、国際機関、研究開発機関、専門家
 - イノベーター、オピニオンリーダー、インフルエンサー
 - VIP（国会議員、行政トップ、企業の経営者層、在日大使館ほか）
- 社会課題への意識・関心の高い生活者
- 一般生活者、アクティブシニア、若年層 ●NPO・NGO、市民団体
 - 学校・教育関係者、学生、児童・生徒
- 10 開催概要 下記「エコプロ 2023」公式サイトを参照してください
<https://messe.nikkei.co.jp/eco-pro/>
- 11 募集対象 自社が開発した環境負荷低減に繋がる先進的な技術・製品等の販路拡大、及び環境ビジネスの市場開拓を目指す、岡山県内に事業所を有する企業等 9社
- 12 出展小間 1小間：W1980mm×D3000mm×H2700mm（予定）
- 【お断り】・出展者数により提示サイズを変更する場合があります。
・感染症対策の観点からブース内に通路を設けます。
- 《基本設備》（予定）
- ・受付カウンター（中棚付） ・パンチカーペット ・社名板 ・パネル設置用造作
 - ・LEDアームスポットライト2灯 ・2口コンセント（1kW）1個 ・一次配線工事
 - ・会期中の電気供給量1kW以内
- 《共用スペース》（予定）
- ・ストックルーム
 - ・ミニセミナー&ワークショップ&商談スペース（大型ディスプレイ設置）
- 13 出展負担金 264,000円（税込）
- 出展小間料及び小間基本装飾に係る経費の一部を補助します。
- 《出展負担金内訳》出展小間料 363,000円 × 1/2 + 小間装飾費 × 1/2
- 【注1】出展小間料は5月31日までに申し込みを完了した場合に適用される早期割引額です。（通常申込：1小間あたり 393,000円税込）
- 【注2】基本装飾以外の追加工事費及びオプション備品等、上記以外の経費は、装飾業者からの別途請求となります。
- 【注3】出展決定後（6月上旬）、出展負担金を請求させていただきますので、払込期限（7月31日）までに指定口座へ入金してください。
- 【注4】出展申し込み受理後のキャンセルはできません。出展者のやむを得ない事由により出展を取り消す場合は、原則として出展装飾負担金のみ返金します。

- 1 4 申込方法 出展申込書に必要事項を記入の上、会社案内、出展品等のカタログ及び資料を添えて期限内に事務局宛てメールにてお申し込みください。(PDF 可)
※出展者募集要項、及び出展申込書は B-net ホームページからダウンロードしてください。
ダウンロードはこちら→ <https://bnet-okayama.jp/information/116>
- 1 5 申込期限 令和5年5月22日(月) 17時まで
※募集定数に達した場合は申込期限前であっても受付を終了します。
- 1 6 岡山県ブース出展者説明会
◆日時 令和5年10月5日(木)～13:30～15:00 ※予定
◆会場 テクノサポート岡山 交流サロン(岡山市北区芳賀 5301)
※会場に常駐する出展責任者、及び出展手続きに係る事務担当者をご出席ください。
- 1 7 特記事項
①本事業は岡山県産業廃棄物処理税を活用して実施するため、申込者が定数を超えた場合、「未利用資源の有効活用に繋がる技術、製品等」に関連する分野の出展者を優先します。
②今回の出展において自社が開発した新技術・新製品を初公開する場合、もしくは令和4年度、令和5年度にプレスリリースした技術・製品を出展する企業を優先的に採択します。
③出展に係る各種手続き(出展申込等)、及び展示装飾業者の選定・交渉は事務局が行います。
④各出展者の小間位置は、形状・出展内容などを考慮し事務局が決定します。
⑤会期中、出展小間に説明スタッフを2名以上配置してください。配置が不可能な場合は出展をお断りいたします。
⑥会期終了後に出展成果(来場者数、商談件数等)に関する調査を実施しますのでご協力をお願いいたします。
⑦本展は新型コロナウイルス感染拡大などの状況に応じ、主催者の判断により中止や延期となる場合がございますので予めご了承ください。
- 1 8 事務局(お申し込み・お問い合わせ先)
公益財団法人岡山県産業振興財団 ものづくり支援部研究開発支援課
担当: 竹内 聖子(環境産業支援コーディネータ)、保本 正人(環境産業推進員)
TEL 086-286-9652(内線 3033) FAX 086-286-9676 E-mail: stake@optic.or.jp
URL <https://bnet-okayama.jp/>

【参考資料】エコプロ 2022 岡山県ブース出展概況

■出展者 13社・機関／12小間

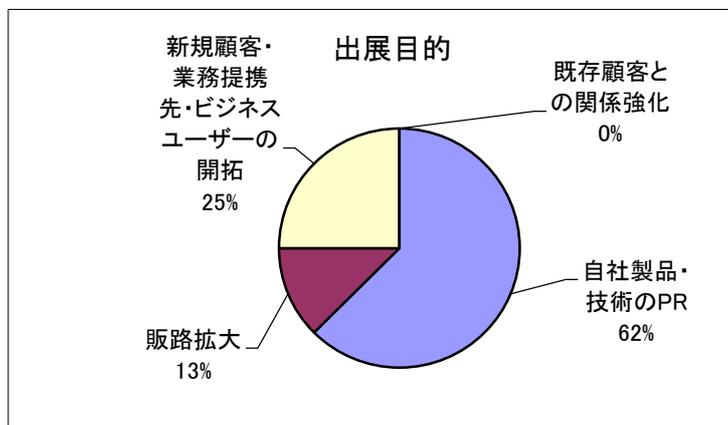
■来場者数 2,986人



ミニセミナー

ワークショップ

■出展者アンケートより



♪通常営業では出会えない企業と知り合えた。

♪継続的な取引に繋がる新規開拓ができた。

♪1社あたりじっくり話を聞かれることが多く、リサイクル分野や防災分野における来場者の関心の高さを実感した。

♪（事務局に対し）準備段階から行き届いたサポートをしてもらい感謝している。

※ワークショップ・ミニセミナー実施企業 VOICE

♪来場者の反応が非常に良かった。

♪自社製品の認知度が上がった。

サキをヨミ、現状をカエルカ

SDGsWeek EXPO 2023の特徴

多様なステークホルダーとの交流を通じ、社会的な価値を上げるためのブランディング、情報開示、自社製品・サービスのPR、マーケティングの場など様々な活用が可能です。

特徴1 Synergy	特徴2 Direct	特徴3 Good Solution
専門性が高く相互に関連する展示会と、特別企業、セミナー、オンライン展を同時開催、相乗効果を生み出します。	業種や世代を越えた多様なステークホルダーとフェイス to フェイスのダイレクトなコミュニケーションが可能です。	先進企業の先行事例や最新動向を紹介、1999年初開催(エコプロ)から環境問題を中心とした社会課題に向き合い続けています。

**産官学民の多様なステークホルダーが交流する環境総合展
2030年・2050年へ向けたビジョン とアクションで現状をカエル!**

SDGs達成を目指す革新的技術やサステナブルな製品・サービスの社会的な価値を訴求・醸成する場



エコプロ

【第25回】

特徴1 ビジネスマッチング…………… SDGs達成を実現する革新的技術、新製品、サービス集結の場

地球環境問題・脱炭素社会への対応が必要不可欠となり、より大きな領域であるSDGsについても、待ったなしの対応が求められています。本展には社会課題の発掘と解決に向けた革新的技術や新しい製品・サービスが集結。集客した幅広い業種のビジネスパーソンとの商談・取引、人的ネットワーク構築を支援します。

特徴2 パーパスブランディング …… 社会課題へ向き合う“パーパス”を起点にしたコミュニケーションの場

ESG情報開示の枠組みが広がり、市場の再編が進む中、社会課題へ向き合う姿勢が重要視されています。本展はパーパスを可視化し行動へ、そして新たな潮流を生み出す場となります。多様な来場者とのコミュニケーションを通じ、パーパスブランディングの構築を図ることができます。

特徴3 次世代育成 …………… SDGsネイティブと双方向の交流の場

小中高生から大学生、社内外の若手・Z世代への情報発信や相互の交流を支援します。製品やサービスの背景にあるストーリーを丁寧に訴求、理解・共感・賛同を引き出すことにつなげます。

▶ 出展分野

■ 環境・SDGsへの取り組み

- 家電・照明 ● 事務機 ● 情報通信 ● オフィス機器・什器 ● 文具 ● 印刷 ● 自家用・商用車 ● 運輸(鉄道、航空、船舶) ● 物流 ● 化学
- 機械・製造 ● 鉄、非鉄 ● 紙類、繊維 ● 新素材・ナノテクノロジー ● 住宅・リフォーム・設備、インテリア ● 建材・資材 ● 建設 ● ビル
- ホテル ● 流通・小売 ● 衣料 ● 日用品 ● 化粧品 ● 食品・飲料 ● 容器・包装 ● 医薬 ● スポーツ・レジャー など

■ 緩和/適応に対応する製品・サービス・技術・オペレーション・マネジメントシステム

- 省エネ/省資源 ● 再生可能エネルギー ● 技術・装置・システム ● エネルギー・マネジメント/サービス ● レジリエンス ● データ解析 など

■ 持続可能な社会の実現に向けた製品・サービス・技術・システム・ソリューション・取り組み

- 環境評価・認証 ● カーボンオフセット/排出権取引 ● ESG ● CSR/CSV ● 5R ● エシカル ● 生物多様性 ● DX活用、スマート産業 など

■ 地域独自の施策、地域発のブランド、資源、サービス

- 脱炭素先行地域/地域循環共生圏/SDGs未来都市/ゼロカーボンシティ/スマートシティ/スーパーシティ など